

令和7年度 内子高等学校 シラバス

教 科	国語	科 目	古典探究	単位数	3単位 2単位	学 年	2 学年
教科書	標準古典探究(第一学習社)		副教材等	学ぶぞ古文と漢文 新装版(尚文出版) 新国語総合ガイド(啓隆社)			

1 学習の目標

- ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにします。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
- ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	古文編 説話(一) 古今著聞集 小式部内侍が大江山の歌の事	・平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、歌で見事に返事をした女性の機転を味わいます。	中間考査
	漢文編 故事・寓話 画竜点睛(歴代名画記)	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深めます。	
	古文編 随筆(一) 方丈記 ゆく川の流れ	・鎌倉時代初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深めます。	期末考査
	漢文編 漢詩の鑑賞 中国の詩 日本の詩	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げます。 ・日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、作者が漢詩に託した自然や人事に対する思いを通して考えを深めます。	
第2学期	漢文編 三国志の世界 水魚之交 赤壁之戦(十八史略)	・諸葛亮が劉備に進言した策について理解するとともに、両者の関係について考えます。 ・魏との戦いを決断するまでの呉の人々の葛藤を読み取るとともに、戦いの迫力ある描写を味わいます。	中間考査
	古文編 物語(一) 伊勢物語 初冠 通ひ路への関守 竹取物語 かぐや姫の昇天	・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わいます。 ・平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れます。	
	古文編 説話(二) 沙石集 児の知恵 いみじき成敗	・庶民教化を目的とした中世の説話を読んで、人のどのような行為を戒めようとしたのかを読み解きます。	期末考査
	漢文編 不思議な世界 織女(搜神記)	・七夕伝説の由来の一つとなった説話を読み、古代中国の人々の想像力と天に対する考え方に触れます。	
第3学期	古文編 随筆(二) 枕草子 雪のいと高う降りたるを 和歌・俳諧 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	・作者が取り上げている事物や対象、経験などを通して、当時の人のものの見方や考え方に触れます。 ・わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、黎明期、発展期、成熟期の和歌を鑑賞します。	学年末考査

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

【思考・判断・表現】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価方法

学期ごとに、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考査、単元テスト、小テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

5 学習のアドバイス

日本や中国の歴史や文化に関心を持って生活しましょう。また、なるべく多くの優れた古典的な文章に触れ、辞書を引ながら自分の力で読み解く練習をしましょう。古典文法、漢文の句法などは特に予習・復習が大切です。分からないことは担当教員に聞いたり調べたりして、その日のうちに解決するようにしましょう。